

今夏のゲリラ雷雨の発生は5.7万回予想、発生ピークは8月中旬～9月上旬  
 ゲリラ雷雨を事前に通知する『ゲリラ雷雨アラーム』を1km四方に高解像度化  
 ～ユーザーから届く雲の写真をAI解析、ゲリラ雷雨の発生をリアルタイムで監視～

株式会社ウェザーニューズ(本社:千葉市美浜区、代表取締役社長:草開千仁)は、局地的・突発的に激しい雨や落雷をもたらす“ゲリラ雷雨”(※1)による被害を軽減するため、お天気アプリ「ウェザーニュース」の『ゲリラ雷雨アラーム』をバージョンアップし、提供を開始しました。『ゲリラ雷雨アラーム』は、ゲリラ雷雨の発生を事前にスマホにプッシュ通知するサービスで、昨年65万人が登録・利用した人気の機能です。今シーズンより、『ゲリラ雷雨アラーム』を配信する細かさをこれまでの5～10km四方から1km四方に高解像度化しました。今回のバージョンアップにより、数キロ単位のスケールで発生するゲリラ雷雨をさらにピンポイントで予測・通知することが可能になっています。また、昨年からは提供を開始したゲリラ雷雨レーダーでは36時間先までのゲリラ雷雨のリスクを、地図上でピンポイントに確認できます。

今年の7～9月のゲリラ雷雨は全国でおよそ5.7万回発生する予想で、8月中旬から9月上旬が発生のピークとなる見通しです。ゲリラ雷雨の多い季節を安全に過ごすため、『ゲリラ雷雨アラーム』や『ゲリラ雷雨レーダー』をご活用ください。

※1 ゲリラ雷雨:本プレスリリースでは、「局地的大雨」を指す言葉として「ゲリラ雷雨」という言葉を使用しています。一般あるいはメディアでよく使用されている「ゲリラ豪雨」と同義です。

※2 2023年7月6日:ゲリラ雷雨傾向 <https://jp.weathernews.com/news/44000/>

“ゲリラ雷雨アラーム”の登録はこちら	参考:今夏のゲリラ雷雨傾向
スマホアプリ「ウェザーニュース」 「お天気アラーム」>「現在地連動のアラーム」より	ウェブ版プレスリリース「ゲリラ雷雨傾向 2023」 <a href="https://jp.weathernews.com/news/44000/">https://jp.weathernews.com/news/44000/</a>

◆ 1km四方の高解像度でゲリラ雷雨の発生を事前に通知する『ゲリラ雷雨アラーム』

『ゲリラ雷雨アラーム』は、ユーザーの現在地のゲリラ雷雨の発生を、事前にスマホにプッシュ通知するサービスです(図1)。2022年には65万人の方にご利用いただき、人気の機能となっています。

今シーズンは、昨年まで5～10km四方で配信していたアラームを、全国1km四方で配信できるようにバージョンアップし、提供を開始しました。昨年と比較すると、25～100倍細かくなり、よりピンポイントでの予測が可能になっています。

ゲリラ雷雨アラームが届いた際には、周囲にゲリラ雷雨の危険が迫っているため、空の変化にご注意ください。急に空が暗くなる、冷たい風が吹いてくる、雷鳴が聞こえるなど、ゲリラ雷雨のサインがあった場合は、近くの建物に避難するなど対策を取るようになしてください。



図1:ゲリラ雷雨アラーム

～メッシュ数は 25～100 倍に、ユーザーから届く雲の写真を AI 解析し、アラームに活用～

今回のバージョンアップで、ゲリラ雷雨を配信するメッシュ数は昨年までの 25～100 倍に大幅に増加しました(図 2)。ウェザーニュースでは、気象データの分析に加え、ユーザーから届く雲の写真を活用し、アラームを配信しています。空気中の水蒸気量や地上と上空の気温差、風の収束などの気象データを分析することでゲリラ雷雨リスクを 5km 四方で予測します。さらにユーザーの写真から雲の危険度を AI で自動解析することで、発生場所をしばりこみ、1km 四方

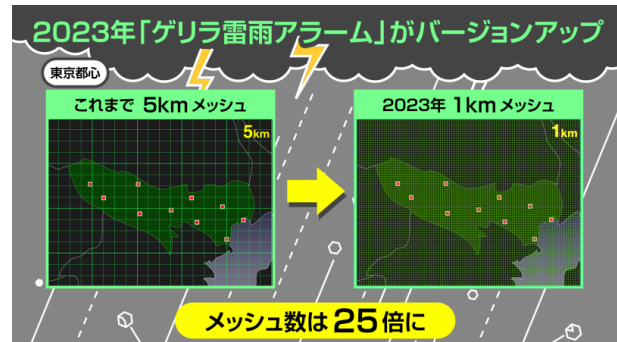


図 2:メッシュ数(イメージ)

の細かさでアラームを配信できるようになりました。アラームを配信するエリアを高解像度化することにより、数キロ単位で発生するゲリラ雷雨に対してよりピンポイントで注意喚起できるようになり、アラームの精度向上が見込めます。

『ゲリラ雷雨アラーム』は、ウェザーニュースアプリの「お天気アラーム」>「現在地連動のアラーム」から設定いただけます。ゲリラ雷雨の多い季節を少しでも安全に過ごすため、ぜひご活用ください。

#### ◆ 36 時間先までのゲリラ雷雨リスクをマップ上で確認できる『ゲリラ雷雨レーダー』

外出前など『ゲリラ雷雨アラーム』よりも前にゲリラ雷雨のリスクを確認したい場合には『ゲリラ雷雨レーダー』が便利です。『ゲリラ雷雨レーダー』は、ゲリラ雷雨の発生リスクを 3 段階でマップ上に表示する機能です。ゲリラ雷雨が発生するおそれがあるエリアを 36 時間先まで 1 時間ごとに予測します(図 3)。現在地や外出先もズームして詳しく確認できるため事前の対策に役立ちます。

『ゲリラ雷雨レーダー』では、15 年にわたってゲリラ雷雨予測に向き合ってきた当社の予報センターが開発した「ゲリラ雷雨リスク予測」のデータを用いています。「ゲリラ雷雨リスク予測」では、様々な観測データや気象予測モデルのデータを解析してゲリラ雷雨を予測する、当社の予報センターのスタッフの“脳内”をシステム化しています。ゲリラ雷雨の発生に寄与する地上と上空の気温や湿度、不安定度などのデータを予報センターのベテランスタッフの経験知や高い気象解析技術をもとにインデックス化し、ゲリラ雷雨の発生リスクを算出します。さらに「ウェザーニュース」アプリのユーザーから寄せられるリアルタイムの天気報告を取り込むことで予測を補正しています。

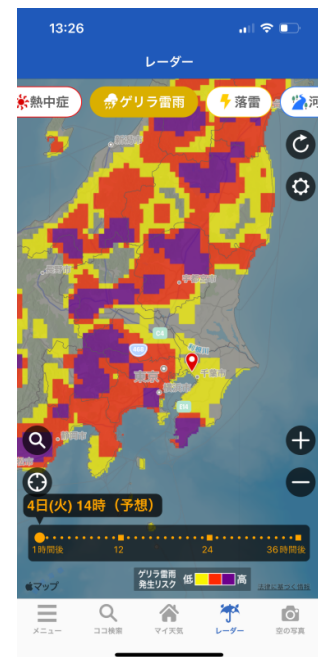


図 3:ゲリラ雷雨レーダー

ウェザーニュースのゲリラ雷雨予測の取り組みは、2008 年に相次いだゲリラ雷雨による水難事故をきっかけに始まりました。当時「予測不可能」と言われていたゲリラ雷雨による被害を少しでも減らしたい、という想いで同年の夏にスタートし、2023 年で 16 年目を迎えます。毎年ゲリラ雷雨による被害が全国各地で発生しています。ウェザーニュースでは今後も、ユーザーの皆さんから寄せられる情報を積極的に活用し、安全で快適な生活に役立つ気象・防災情報の発信と、よりわかりやすく使いやすいサービスの開発・改善に取り組んでまいります。

#### ◆ 天気予報精度 No.1、累計 3,700 万ダウンロードのお天気アプリ「ウェザーニュース」

「ウェザーニュース」は、株式会社ウェザーニューズが運営するお天気アプリです。累計ダウンロード数は 3,700 万を突破し、多くの方にご利用いただいています。全国 13,000 か所の独自の観測網と、アプリのユーザーから寄せられる天気報告を活用した、高精度の気象情報をご覧いただけます(一部、有料会員向け機能あり)。

天気予報の精度に徹底的にこだわり、第三者機関による天気予報サービスの予報精度調査において、予報精度 No.1(※3)を獲得しています。気象リスクに向き合うプロフェッショナルが、24 時間リアルタイムで情報を更新し、台風・大雨・暴風・ゲリラ雷雨・大雪・地震などの最新情報をいち早くお伝えし、いざという時に役立ちます。また、医師と共同開発した天気痛予報、洗濯物の乾く時間がわかるお洗濯情報など、生活に役立つコンテンツも満載です。今後もユーザーの皆さまの安全で豊かな生活をサポートできるアプリを目指し、予報精度向上、新コンテンツの開発、UI・UX の改善に努めてまいります。

(※3)

調査方法: デスクリサーチ

調査期間: 2022 年 1 月 1 日～5 月 31 日

調査概要: 天気予報精度調査

調査実施: 東京商工リサーチ

比較対象: 「ウェザーニュース」を含む日本国内の主要な気象予報 5 サービス

調査の詳細は当社 HP をご覧ください。

「ウェザーニュース」が天気予報サービス予報精度 No.1 を獲得: <https://jp.weathernews.com/news/40290/>

#### <スマホアプリ「ウェザーニュース」概要>

名称	ウェザーニュース
利用料金	無料(App 内課金あり)
対応 OS	iOS/Android
ストア URL	【App Store】 <a href="https://apps.apple.com/jp/app/ウェザーニュース/id302955766">https://apps.apple.com/jp/app/ウェザーニュース/id302955766</a> 【Google Play】 <a href="https://play.google.com/store/apps/details?id=wni.WeathernewsTouch.jp&amp;hl=ja&amp;gl=US">https://play.google.com/store/apps/details?id=wni.WeathernewsTouch.jp&amp;hl=ja&amp;gl=US</a>